

佐竹典明 議員



佐竹 これからの福祉行政の取り組みは

町長 町独自の支援策など安心な暮らしの環境づくりをすすめる



楽しいひととき デイサービス

町長 意見として受け止めます。

後期高齢者医療制度は廃止すべきと国に提言を

後期高齢者医療制度は、問題が多すぎて見直しや改善だけでは解決できないと思われま

この制度は直ちに廃止すべきと、国に提言されては

いかがですか。

町長 国において見直しの議論が行われていることや、被保険者及び現場の医療機関においても定着しつつあることから、廃止すべきと提言する考えはありません。

ないかと心配の声があります。調査項目はきちっと守られていくべきと、国に申し入れてはいかがですか。

健康福祉課長 それぞれの状態については、ケアマネージャーがよく把握して適切なサービスにつなげていきます。

保険料は保険者(町)の判断で所得段階の改定が可能となり、今の7段階からもっと広げる予定です。

佐竹 介護認定の見直しは調査項目が削減され、介護度が軽く認定されるのでは

介護保険の次期計画に向けた取り組みは

見直し時期となった介護保険事業計画について、前期の成果や教訓を踏まえどのように計画されていますか。

町長 介護報酬は介護従事者の処遇向上に向けて改定(引上げ)が予定されてい

付制度について、町長の決断で小学校6年生まで広げるようにしてはいかがですか。

町長 現在の県補助制度に加え、所得要件によって就学前まで窓口負担を無くします。

県の取り組み状況や一般財源との関係も考慮しながら、対象年齢の引き上げや無料化に向けた支援策の拡充などに取り組んでいきます。

子供の医療費給付制度の延長は

現在は就学前までとなっている乳幼児医療費給

福祉行政の理念は 町長の掲げる福祉行政の理念はどのようなものですか。

町長 町民の安心な暮らしを実現するため、出産・育児に対する精神的、経済的な不安を、少しでも解消できる支援策など、町独自の子育てしやすい環境づくりや、福祉・医療の充実をはかることです。

今野正明 議員



今野 地方分権時代の自治体のあるべき姿は 町長 信頼関係や自治体ルールを踏まえた共創のまちづくり

新町長の施政は

新町長のマニフェストと今後の本町の中・長期ビジョンを含めた施政を伺います。

町長 まちづくりビジョンは、町民とともに作り上げる共創のまちづくりを理念とします。次代を担う人材確保と、町民が安心して暮らしを営めることができる安心した暮らしを、産業の振興を中心とした活力あるまちづくりの三つの柱でまちづくりの展開をはかっていきます。

子育て支援は見直すのか

今野 平成20年2月に白鷹町保育の将来ビジョンが示

2名が空席

教育委員会は行政委

公共施設の箱物整備方法については、財政状況や手続きを踏まえながら検証し、取り組んでいきたいと考えています。

町長 公共施設の箱物整備方法については、財政状況や手続きを踏まえながら検証し、取り組んでいきたいと考えています。

員会として、独立した機関です。今、教育委員長、教育長、そして監査委員が不在です。この状況を町長はどう考えますか。

町長 教育委員長、教育長という重要なポストの二人が辞職され、教育委員2名が空席です。5名定員に3名ということは決して好ましいことではないので、できる限り早い時期に教育委員と監査委員を選任したいと思っています。

協働のまちづくりをどうする

今野 共創のまちづくりを推進することですが、協働のまちづくりを町長はどうとらえていますか。また、これまでの協働のまちづくりを見直していくのか伺います。

町長 協働という基本的な考え方については、私は何ら異存はありません。しかし、その進め方については、行政と町民の間で認識の差が相当あると感じますので、検証しながら取り組んでいきます。



協働のまちづくりを学ぶ